



つばめぐみだよ!

令和5年1月25日(水)

津田このみ学園

新しい年を迎え、久しぶりに登園してきた子どもたち。「おじいちゃんと初詣行ったで!」「おもちいっぱい食べたよ」「凧揚げした!」「年賀状届いたよ!」など、お正月の出来事をたくさん教えてくれました。園では、こま回しやけん玉などの伝承遊びを楽しんだり、年賀状のやりとりをきっかけにお手紙ごっこをして遊んだりしています。そんな子どもたちの様子を紹介します。



どうやってまわすの…?

園庭でこま回しをして遊んでいる友達の様子を見て、こま回しに興味を持ったつばめ組の子どもたち。実際に回してみると、なかなか回らず苦戦していました。「まわらへん!」「どうやってヒモ巻くんかわからへん…」と困っていると、回し方を知っている5歳児のAさんと4歳児のBさんが、「一緒にやってあげる!」「こうやって巻くんやで!」と声をかけ、友達を助ける姿が見られました。

1人の子がこまを回そうとすると、他の子どもたちは周りで見守り、「あー!おいしい!あとちょっとやったのに!」と励ましたり、「すごい!まわったー!」と、自分のことのように一緒に喜んだり…。友達のことを思いやり、声をかけあいながらこま回しに夢中になっています。



ゆうびんでーす!

つばめ組でお手紙ごっこをしています。「手紙は切手を貼らないと届かへんので」「名前を書かないと誰に届けたらいいのかわからへん」「手紙がたくさんで届けるのが大変や…」「じゃあ郵便屋さんのカバンを作ろうよ!」と、知っていることや遊んでいる中で感じたことを友達と伝え合いながら、ごっこ遊びが少しずつ進化しています。また、文字にも興味を持ち、文字で相手に思いを伝える楽しさも感じています。まだまだお手紙ごっこが盛り上がりそうです。

